

2025年のトピックス

北海道全共を見据え、繁殖雌牛の手入れ勉強会を開催！

令和9年度に開催される全国和牛能力共進会（北海道全共）の種牛の部の上位入賞を目指して、8月22日、生産者が組織する「とちぎ和牛全共会」と県、農業団体が連携し、「繁殖雌牛の手入れ勉強会」を開催しました。当日は県内の若手生産者や農業関係高校の生徒など約180名が参加し、経験豊富な生産者による指導のもと、生体を用いた実践形式で、バリカンの使い方やブラッシング方法など、牛の手入れについて理解を深めました。

全共出品にける生産者の熱意が、次世代へと受け継がれる貴重な機会となりました。



栃木県初！豚のGAP認証を取得！

GAPは、食品安全や環境保全、労働安全など、持続可能な農業の実現に向けた取組を評価する制度です。

栃木県畜産酪農研究センターでは、令和8年1月6日、県内で初めて豚において「GAP認証」を取得しました。

認証取得にあたり、センターでは養豚研究室を中心に飼養管理の見直しや衛生管理の強化、記録の徹底など、日々の業務改善に取り組み、職員一丸となって認証取得を目指してきました。今回の認証は、安心・安全な豚肉生産を支える現場の技術力と努力の成果です。

今後は、県内養豚農家への技術支援を通じてGAPの普及を促進し、持続可能な畜産の推進に貢献していきます。また、この取組は若手の育成にもつながり、次世代の畜産技術者の成長も期待されます。



豚熱の発生防止のため、養豚農場防疫強化アドバイザー（養豚専門獣医師）を派遣

豚熱は、豚とイノシシに感染する致死率の高い伝染病で、農場で発生した場合、飼養豚をすべて殺処分する必要があるなど、甚大な被害をもたらします。平成30年9月に岐阜県で、国内26年ぶりに発生して以降、これまでに国内の農場で100例の発生が確認されています。県内でも、令和3年4月の初発生以降、これまで6例の発生があり、発生防止が大きな課題となっています。県では豚熱の発生防止対策の一環として、令和7年7月から10月にかけて、養豚専門の獣医師を県内のモデル農場3戸に派遣し、各農場の防疫対策や従業員教育等についてアドバイスをいただき防疫レベルの向上を図りました。また、モデル農場で得られた豚熱対策の様々な知見は、12月に開催された講習会を通じて県内の他の養豚農場にも広く共有され、豚熱の発生防止に役立てられています。



全日本ホルスタイン共進会が10年ぶりに開催されました！

令和7年10月25日から26日にかけて、北海道安平町で第16回全日本ホルスタイン共進会が開催されました。本大会は全国の酪農家が日頃の改良や飼養管理技術を競う場で、10年ぶりの開催となりました。

今回の大会には、全国から選りすぐりの約400頭の乳用牛が一堂に会し、年齢に応じた部門で審査が行われました。本県からは12頭が出品され、そのうち2頭が部門で優等賞を獲得するなど、健闘しました。

共進会は、順位を競うだけでなく、酪農家同士や後継者、学生との交流・教育の場としても重要な役割を果たしており、こうした取組を通じて、技術の向上や次世代の育成が進むなど、酪農振興に大きく寄与しています。

今後も、共進会などの機会を活用し、本県酪農のさらなる発展に努めてまいります。



コントラクター組織育成アドバイザーを設置しました！

耕畜連携の取組拡大による水田を活用した飼料生産や堆肥の活用を一層進めるため、飼料生産等の作業を請け負うコントラクター組織の設立や運営に精通した組織育成アドバイザーを新たに令和7年11月1日に3名設置しました。

アドバイザーは自身の経験を基に組織の新規設立を検討する生産者や機能強化を検討する既存組織等に対して、運営面の助言を行います。

今後は、畜産農家に留まらず、耕種農家を中心とした飼料生産組織の設立を支援することで、自給飼料の更なる増産を図り、本県畜産農家の経営安定化につなげていきます。



第16回日本動物超音波技術研究会大会を開催！

12月8日・9日の2日間にわたり、第16回日本動物超音波技術研究会大会を開催しました。本大会の運営には栃木県畜産酪農研究センター(以下、畜酪センター)が中心的な役割を担い、大会長を同センター所長が務めました。

8日、栃木県総合文化センターでの研究会では、畜酪センター職員による特別講演をはじめ、基調講演、一般発表を通じて、肉質診断や繁殖技術などに関する最新の知見が紹介されました。翌9日には、畜酪センターで研修会を実施し、肉質・繁殖診断に関する実技実習を行いました。実践的な内容に触れながら、全国の研究者・技術者による活発な意見交換が行われました。

2日間で約120名が参加し、技術者・研究者の交流が深まるとともに、畜産現場の技術力向上に大きな一歩となりました。

写真 上：12月8日研究会の様子 下：12月9日研修会の様子

